

年間学習目	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな発想や創造的な技能などを働かせ、その体験を深めることに興味をもつとともに、進んで表現する態度を育てるようにする。 手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、つくりだす能力、デザインの能力、創造的な工作の能力を伸ばすようにする。 身近にある作品、材料のよさや美しさなどに関心をもち、それらに対する感覚を高める。 		
学期	学習内容・到達目標	学期	学習内容・到達目標
前期	<p>ぼくのわたしの似顔絵</p> <ul style="list-style-type: none"> 顔の特徴をつかんで描くことができる。 ていねいに色をぬることができる。 <p>よく見て描こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ものの特徴をつかんで描くことができる。 <p>くっつけくっつけ</p> <ul style="list-style-type: none"> 粘土のつけ足しによって、形が変化していくことを楽しみながらつくろうとする。 <p>これでかけるよ</p> <ul style="list-style-type: none"> 材料の形、色、材質感などを生かして、工夫しながら絵に表すことができる。 友だち同士で作品を見せ合いながら、工夫したところ、知ってほしいことなどを紹介し合うことができる。 <p>風パワー全開</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕組みの動きを試し、より楽しいものへと新たな発想を加え、表し方を工夫することができる。 <p>きょうかしよびじゅつかん</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵本の気にいったところなど、感想を友だちとお互いに話し合いながら、作品のよさを味わうことができる。 <p>だんボールのへんしん</p> <ul style="list-style-type: none"> 材料の特徴から、絵に表す、楽しい形を作るなど、作りたいものを思いつくことができる。 <p>ふわふわゴーパー</p> <ul style="list-style-type: none"> ポリ袋の特徴を生かし、ふくらませたり飾りを付けたりして作りたいものをすすんで作るようしている。 	後期	<p>心キラリ</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常の感動した場面にふさわしい表し方を考え、工夫して絵に表すことができる。 <p>きせつの中で</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節を感じる材料や場所の特徴を生かし、材料や方法を組み合わせて作品を作ることができる。 <p>グルグルかくかく</p> <ul style="list-style-type: none"> 太い線、細い線、まっすぐな線など、楽しくいろいろな線を引き、表し方の楽しさなどを友だちに伝えることができる。 <p>広がれ生きものワールド</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを効果的に表すために刷り方や材料を工夫して表すことができる。 材料の感じを生かして発想し、夢のある絵にしようとし、材料にふさわしい貼り方を見つけ、工夫することができる。 <p>そのときの気持ちを大切に</p> <ul style="list-style-type: none"> 物語の空想の世界を楽しみ、好きな場面を絵に表すことができる。 <p>切って切ってトントントン</p> <ul style="list-style-type: none"> 釘打ちや接着について順序や方法などを考えながら作ることができる。 友だちの作品の発想の面白さやよさを見つけて話し合うことができる。 <p>思い出作り</p> <ul style="list-style-type: none"> 色の組み合わせや構成を考え、6年生への感謝の気持ちを作品に表すことができる。

図画工作科の評価

<ul style="list-style-type: none"> 図画工作科では四つの観点で評価します。 			
造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
自分の思いを表す体験を深めることに興味をもつことやつくったものなどに関心をもって見るなど、進んで造形表現活動を楽しみ、その喜びを味わおうとする。	見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、豊かな発想をしたり、作りたいものの美しさや用途を考えたりして、思いをふくらませようとする。	手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりしながら、つくりだす能力などを働かせて、自分なりの技能や表し方を工夫する。	自分たちの作品や身近にある作品などのよさや美しさ、感じの違いなどに関心をもって見る。
<ul style="list-style-type: none"> 次のような方法で見えていきます。 			
発表会	取り組む様子	作品	絵の具の使い方
			アイデアスケッチ
			展示方法

おうちの方へ

豊かな発想や創造的な技能などを働かせ、その体験を深めていきたいと思っております。身近な材料が必要な場合があります。ご家庭でのご協力をよろしくお願ひいたします。作品を持ち帰りましたら、鑑賞し、工夫したことなどの話を聞いたり感想を言ってあげたりしてください。

